

県政の今を考え、安心・安全・そして元気な愛知づくりにも!

高橋正子の
モットー

編集者の目線

今、何が問題なのか…、この地域ではどうなのか…、そしてどうするべきなのか…。時局の話題・問題に取り組んでいくには、長年の編集者としての経験をフルに活かし、常に問題意識と好奇心を持つことを忘れることなく「直感と感性」で、県政の諸課題に向き合っていきたいと思っています。

+

生活者の目線

「命」「雇用」「暮らし」を守り、「安定」した愛知をめざすために生活者の目線、女性の視点、そして30年間取材記者で培った現地現認主義と問題意識をもって、県政の諸課題に取り組んでまいります。

時局の
= 話題・問題
に取組みます。



高橋正子の
5大政策

1 男女共同参画施策に取り組み、
「ウーマノミクス」を推進します。



女性の目線、女性の視点、そして女性の意見を、さまざまな分野で反映することこそ、地域活性化につながります。女性が活躍できる社会と環境の整備に努めます。

2 災害や犯罪から
「命」と「暮らし」を守ります。

南海トラフ巨大地震に備え、建物の耐震化・家具固定率100%達成などの減災対策と、発災直後からの避難生活対策（女性の視点で）の取り組み。また、防犯力を高めて犯罪のない地域づくりを。

3 産業育成と経済の好循環で
元気な愛知を!

2027年開業のリニア中央新幹線の開業を活かした地域づくりと、一宮の地場産業の再生。さらに企業誘致で「雇用」と活力ある街づくりを。



4 子どもを安心して
産み育てられる街づくり。

若い世帯が住んで良かったと思える街づくり、子どもを安心して産み育てられる環境の整備を。また、女性が希望すれば育児をしながら働ける社会、さらに子育てを終えた女性の復職もしやすい社会へ。



5 いきいきと
元気に暮らせる社会を。

誰もが生きがいを持って、互いに支え合える街づくり。地域医療の充実・医療従事者の確保もでき、障害のある人もない人も共に自分らしくいきいきと暮らせる社会の構築を。

